

エコチルひょうご通信



兵庫ユニットセンター長からのご挨拶

日頃よりエコチル調査に対して多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。
2011年に開始されましたエコチル調査は15年目を迎え、エコチル調査に参加されている最も年長のお子さんは、この春から中学2年生になられます。長い間のご協力に深く感謝いたします。エコチル調査により、これまでに私たちを取り巻く環境と子どもたちの発達や健康との関係について多くのことがわかってきました。こうした研究成果は、子どもたちが健やかに暮らすことのできる環境を実現するための重要な資料となるものですが、まだまだわからないことがたくさんあります。そのため、当初はお子さんが13歳になるまで追跡する予定でしたが、13歳以降も調査を継続することになりました。これからもよろしくお願いいたします。

今年は4月から大阪万国博覧会が開催され、また、神戸空港での国際線就航が始まりました。子どもたちが、世界をより身近に感じる1年になりそうです。今後も、多くの情報を発信するとともに、地域の子どもたちに成果を還元できるよう尽力させていただきます。引き続き、ご指導・ご協力下さいますようお願い申し上げます。

エコチル調査兵庫ユニットセンター長
竹島 泰弘



学童期検査・詳細調査を実施しました

2024年6月～2025年2月に尼崎市内の生涯学習プラザ等で小学6年生を対象とした学童期検査を実施し、多くの方にご参加いただくことができました。また、同時に同じ会場で10歳詳細調査として、医学的検査と精神神経発達検査も実施しました。

2025年度は6月中旬より、昨年度に引き続き小学6年生を対象とした学童期検査と、今年度からは12歳のお子さんを対象とした詳細調査（医学的検査、精神神経発達検査）を実施する予定です。





科学実験教室を実施しました

2024年7月6日（土）、尼崎市中心北生涯学習プラザにて「科学実験教室」を実施しました。例年同様に大阪科学技術センターから講師の先生をお招きし、『電気』と『空気』をテーマにさまざまなトークと実験をしていただきました。

参加したお子さんからは「電気の体験が痛かった」、「空気砲を作るのが楽しかった」、保護者からは「話だけでなく実際に体験できるのが良かった」等の感想をお寄せいただき、皆さまに満足いただくことができたと考えています。



第6回ひょうごユース eco フォーラム

2024年12月14日（土）、兵庫県立工業技術センター（神戸市）にて開催された兵庫県主催の「第6回ひょうごユース eco フォーラム」に参加しました。このフォーラムは、「将来につなぐ兵庫の自然の恵み～私たちができること～」をテーマに、若者世代による環境保全・創造活動の活性化を通して将来社会の担い手を育成するために、県内の高校生と大学生が企画・運営等にも参画して開催されています。

当日は環境問題の解決に取り組む学生やNPO法人・企業など35団体、約200名が参加し、日々の活動内容の発表報告やポスター展示、グループディスカッションが行われました。兵庫ユニットセンターからもスタッフ2名が参加し、エコチル調査の実施状況や研究成果などについてポスター展示で紹介を行いました。ポスターを見に来てくださった方から「きょうだいがエコチルに参加している。今までどんな調査なのかあまり知らなかったけれど、今日の展示を見て内容が理解できました」とお話しくださいました。意外なところで参加者の方とのつながりを感じ、改めてエコチル調査の意義についてもしっかり発信していく必要性を感じました。



エコチル調査公開シンポジウム

2025年3月2日(日)、なんばスカイオコンベンションホール(大阪市)にて行われた環境省主催の「第14回エコチル調査シンポジウム」に参加しました。例年は関東で開催されていましたが今回は初の関西開催となり、兵庫ユニットセンターを含む、近隣の大阪ユニットセンター、京都ユニットセンターが協力するという形で行われました。



シンポジウム第1部のワークショップでは『「作ろう! 測ろう!」分析体験』と題して分光器(ぶんこうき)を作成しました。分光器とは、光を色々な色に分ける道具のことで、この道具を使うと、どんな成分が含まれているかを知ることができ、色々なものを分析する機械にこの仕組みが応用されています。



第2部のトークショー『聞こう! 語ろう!』エコチル調査』では、「おしえて! 健康・運動・環境のこと」をテーマにゲストの星野伸之さん(元プロ野球選手)、バンビーノさん(お笑い芸人)からの素朴な質問や鋭い質問にエコチル調査研究者がわかりやすく解説しました。さらに「国立環境研究所」の見学ツアーが当たる、わくわく抽選会などもあり大盛況でした。また、シンポジウムの合間には他のユニットセンターの方や参加者さんとの交流もでき、とても有意義な時間となりました。





エコチル調査運営協議会を開催しました

2025年3月6日(木)、『第21回兵庫エコチル調査運営協議会』を兵庫医科大学とWebを併用してのハイブリッドで開催しました。エコチル調査の進捗状況や学童期検査・詳細調査などの実施状況についてのご報告、13歳以降の調査継続についてご説明させていただきました。委員の方から多くの貴重なご意見をいただきましたので、それらを踏まえて今後の調査を進めていきたいと思ひます。



兵庫ユニットセンター「エコチル調査公開講座」を開催しました

2025年3月23日(日)、JR尼崎駅前の「ホテルヴィスキオ尼崎」にて「エコチル調査公開講座」を開催しました。

今回は二部制となり、第1部では兵庫ユニットセンター長の竹島泰弘からエコチル調査の概要と進捗状況を説明し、続いて兵庫ユニットセンターの島正之よりエコチル調査で得られた成果の一部を紹介しました。

その後、同志社大学准教授の原田禎夫先生に「未来のために知っておきたい海とプラスチックの話」というテーマでご講演いただきました。

第2部では映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」を上映しました。この映画は、ニューヨークブルックリンの5年生たちが世界的に大きなプラスチック汚染問題の根っこが何かを彼らの視点で問いただし、解決に向かって自分たちの地域からアクションを広げて行くまでの2年間を追った長編ドキュメンタリーです。第1部でご講演いただいた原田禎夫先生は日本語吹替版にもご尽力されたお一人でした。

エコチル調査公開講座での映画上映は初の試みでしたが、原田禎夫先生のお話も含め参加者の方からは「環境に関する情報を知ってショッキングでもあったが自分でももっと積極的に調べてできることを探していきたい」、「もっと環境問題についての講座を開催してほしい」などのお声をいただき、参加者の皆さまの環境に対する関心の高さを実感いたしました。今後も皆さまにご満足いただける情報を発信していく機会を設けていきたいと思ひます。



2025
年度号

【編集・発行】兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 ☎ 0120-456-019

MAIL: ecochild@hyo-med.ac.jp URL: <https://www.ecochil-hyogo.jp/>

